

園芸作物の生殖生理に関する研究

山形大学 フィールド科学センター 助教 池田 和生

連絡先 E-mail: kikedata@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp TEL: 0235-24-9982

キーワード: 園芸作物 早期結実

概要

モモ・栗3年、柿8年と果樹は種をまいてから実をつけるようになるまでの期間が長い。開花結実を早める研究に取り組んでいます。

シーズの特徴

園芸作物、特に果樹は幼若期間が長く、播種から開花・結実まで非常に長い時間がかかります。したがって、新たに交配して得た実生の花や果実の形質がわかるまでかかる時間も長くなります。そういった欠点を、DNAマーカーを利用した早期判別法や遺伝子導入による幼若期間の短縮といった手法を用いて改善していく研究を進めています。また、栽培技術や分子生物学的手法を用いて、園芸作物の開花期の判定や制御を行う技術の開発も目指しています。さらに、附属フィールド科学センターという立地を生かして山形の在来作物の収集・維持にも取り組んでいます。



開花期のブルーベリー (左)とビバーナム‘スノーボール’ (右)



カンキツから単離したFT遺伝子を遺伝子組み換えによりセイヨウナシに導入(拡大図)

接ぎ木1か月後に開花した、花成制御遺伝子導入セイヨウナシ



甘果オウトウの自家和合性判別DNAマーカー
S⁴:自家不和合性 S^{4'}:自家和合性突然変異

これまでの活用事例・技術移転

特になし

研究者からのメッセージ

数十年かかる新品種の開発をぐっと短縮します。

参考情報:

問い合わせ先: 山形大学国際事業化研究センター E-mail: big-i@yz.yamagata-u.ac.jp
Tel: 0238-26-3602